

報告事項1（意見聴取）

平成28年度教員採用選考テストについて

平成28年度教員採用選考テストに係る選考方法等の主な改正について、教育長が専決をするにあたり、委員会に意見を求める。

平成27年1月21日

<参考>

教育公務員特例法

（採用及び昇任の方法）

第十一条 公立学校の校長の採用並びに教員の採用及び昇任は、選考によるものとし、その選考は、大学附置の学校にあつては当該大学の学長、大学附置の学校以外の公立学校にあつてはその校長及び教員の任命権者である教育委員会の教育長が行う。

## 平成28年度(27年度実施)大阪府公立学校教員採用選考テストについて

### ■試験日程等

- ◇ 願書受付期間 …4月1日(水)～5月7日(木) ※インターネット出願は4月24日(金)まで
- ◇ 一次選考 …面接テスト： 7月11日(土) [名古屋、岡山会場]  
7月18日(土)～20日(月祝)、[予備日25日(土)]  
…筆答テスト： 7月26日(日)
- ◇ 二次選考 …筆答、実技テスト： 8月22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日)  
…面接テスト： 8月下旬～9月下旬
- ◇ 結果発表 …一次選考： 8月12日(水)予定  
…二次選考： 10月21日(水)予定

### ■選考方法等の主な変更、改正点

- ◇ 中学校・中学部、高校・高等部における併願募集(一部教科)
  - 中学校・高校・支援学校において、優秀な人材を確保するため、中学校、高校の両校種の免許保有者を対象に、中学校・中学部と高校・高等部の併願を可能とする募集を行う。  
ただし、募集する教科は、例年の志望状況等を勘案し、「国語」「数学」「音楽」「美術」「家庭」「英語」とする。
- ◇ 高校・高等部の「地歴」「公民」の資格要件を変更
  - 「地歴」「公民」のいずれの科目も担当できるよう、両免許の保有を資格要件とする。
- ◇ 社会人経験対象の選考区分の対象要件を見直し
  - 雇用形態の多様化を踏まえ、常勤の派遣社員や任期付社員も対象とする。
- ◇ 教員チャレンジテストの基準(正答率75%以上)を満たした者は、一次選考・筆答テストを免除
- ◇ 一次選考における面接テストの実施方法を変更
  - 人物重視の選考をさらに徹底するため、特別選考区分における面接を集団面接から個人面接に変更する。

※一般選考区分については、H28年度教員採用選考テストでは従前どおりの集団面接とする。  
なお、H29年度教員採用選考テストにおいては、一般選考区分についても個人面接にするとともに、選考の実施手順、スケジュールの変更を検討。(今年度中に公表予定)

### ■今後の予定

- ◇ 2月中旬…受験説明会の実施案内(大阪、東京、名古屋、岡山を予定)を公表
- ◇ 3月初旬…大学等推薦制度実施要項を公表(HP掲載、大学等に周知)
- ◇ 3月下旬…受験案内(募集校種・教科、採用予定数等)を教育委員会会議に報告、確定後公表
- ◇ 4月1日…受験案内の配布、受付開始

## 平成26年度 教員チャレンジテストの結果

## 【実施状況】

申込者数	4,292人
受験対象者数（受験料納付者）	4,048人
受験者数	3,677人
受験率	90.8%

## 【テスト結果】

平均正答数／全問題数	30.9問／50問
平均正答率	61.9%
全問題数に対する正答率が75%（38問）以上 （受験者数に対する割合）	577人 （15.7%）

